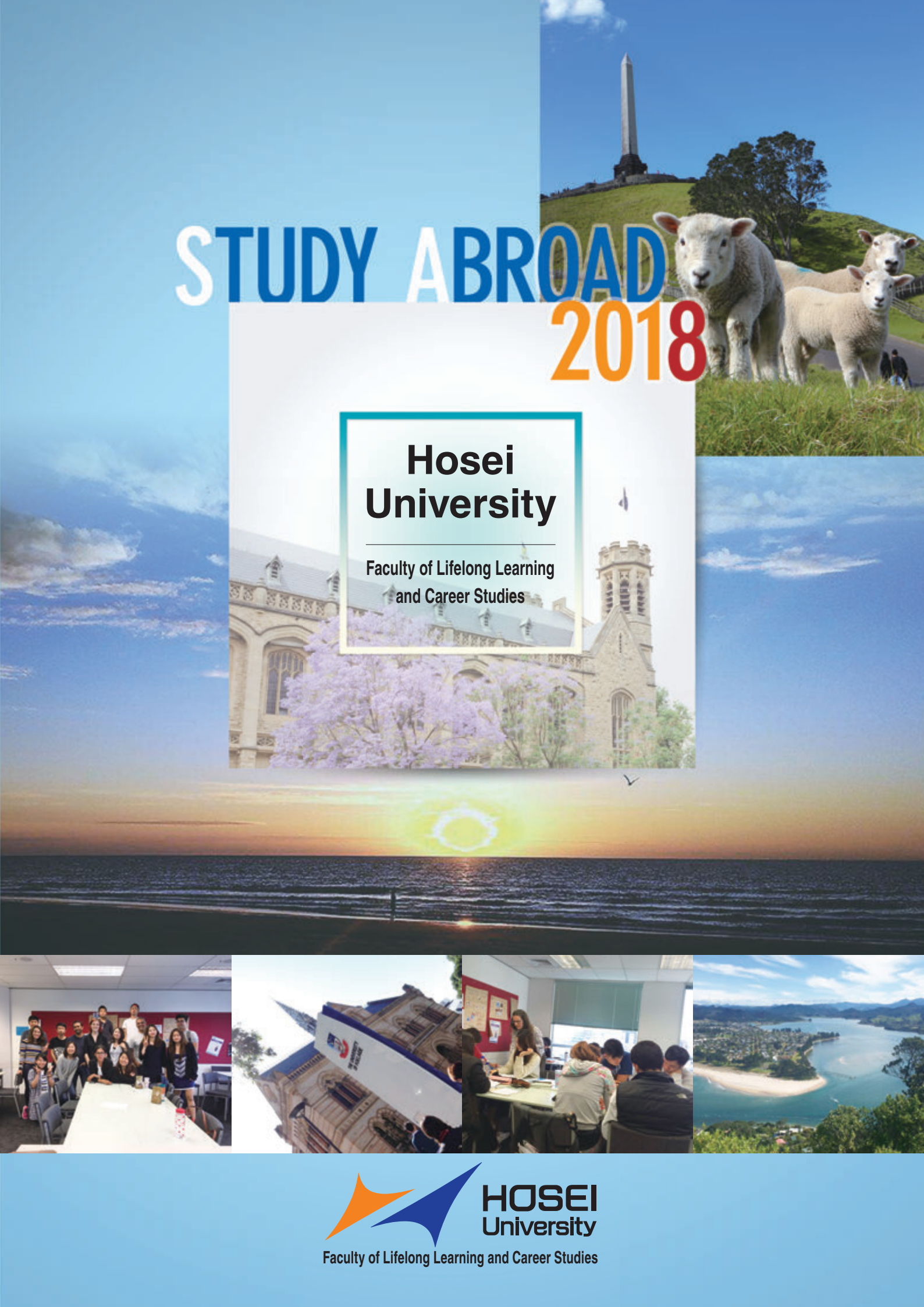


STUDY ABROAD 2018

**Hosei
University**

Faculty of Lifelong Learning
and Career Studies



目次

■ キャリアデザイン学部長からメッセージ.....	1
■ スタディ・アブロード (SA) プログラムとは?	2
SA プログラムの目的	
SA 参加原則	
SA プログラムの内容	
SA プログラム費用	
SA 奨学金	
単位認定	
■ SA プログラムスケジュール /Q&A	4
■ SA 先大学の紹介	
ニュージーランド オークランド大学	6
オーストラリア アデレード大学	10
■ SA 体験記	

キャリアデザイン学部長からメッセージ



キャリアデザイン学部長
武石 恵美子

皆さんの周囲にあるモノをみてください。家具や洋服、小物、音楽など、海外のモノであふれているのではないのでしょうか。国境を意識しないでモノを買ったり、サービスを受けたりするのが日常になりました。もちろん、日本発で海外に届くモノも多く、かつては電気製品や自動車が目立ちましたが、近年はアニメや日本食などのコンテンツも海外で人気があることは皆さんもご存知のとおりです。

このようにモノやサービスの移動が国境を意識しないで自由に取引されるようになり、グローバル化が急速に進んでいます。それに伴い、人材のグローバル化も求められるようになってきました。グローバル社会に求められる人材像は、国境を越えて地球規模で物事をとらえることのできる人材です。そのために、自分が暮らす日本を客観的にとらえることができる、また多様な意見や文化を認め受け入れることができることが重要です。

日本にいても海外の情報が入ってくる、外国人も大勢来日する、だから自然にグローバル化に対応できている、とってしまうかもしれません。もちろん、様々な国の人とのコミュニケーションを通じて異文化に触れる重要な機会は私たちの周囲に増えていますから、これを活用することは重要です。さらに一歩進んで、海外で一定期間生活することにより、異文化や多様な人の生活に直接触れ、そこから様々なことを感じ取り、学ぶことができるのが留学体験になります。

キャリアデザイン学部では、少し長めの3カ月の留学体験ができるSAプログラムを、2013年度から開始しました。オーストラリアとニュージーランドの大学と提携し、3カ月の英語研修を受けながら、それぞれの国を知る機会です。1カ月では物足りないし、6カ月では少し長い。初めての海外留学として、3カ月は適当な期間といえるでしょう。語学は、現地で学ぶことが一番の近道です。この経験をひとつのステップにして、そこから次の展開を考えることができるはずです。

SAプログラムを実施する大学には、多くの国から皆さんのような若者が学びにきます。そうした人たちとの交流によって、まさに多様な文化に触れ、そこから日本を見つめなおすことができる「グローバル体験」ができるはずです。

「キャリアデザイン」の出発点は、まず自分を知ること—いわゆる自己理解—にあります。自分とは異なる文化を知り、多様な生き方や考え方、価値観などを学ぶことは、自己を相対化し、社会のなかで自らのアイデンティティを築いていくために大事なことです。

この機会に、今しかないチャンスを、自分のためにぜひ活かしてください。

スタディ・アブロード (SA) プログラムとは？

SA プログラムの目的

キャリアデザイン学部のSAプログラムは、集中的に英語を学び、英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、今後のキャリア形成の礎となる実践的英語スキルの習得を目指します。国際社会でのマナーとルールを身につけると同時に、そのプロセスを通じて国際人としての素養と自覚を高め、将来国際的に活躍するための意欲を培うことを期待しています。

SA 参加原則

- キャリアデザイン学部にて在籍し、所定の選考を通過すること（2012年度以降入学者に限る）
- ※応募時に1～3年次に在籍、SA参加時に2～4年次に在籍していることが必要。（休学中の参加は不可）
- 編入生は事前に要相談

- 心身ともに健康で、海外での生活に順応できること
- 事前の英語教育として、SAプログラム実施の2018年度春学期までに下表11科目の中から4単位以上履修していること
- ガイダンス（参加先での安全面などの指導）に参加すること
- 留学中は定期的に、報告書を提出すること
- 帰国後、帰国報告会に参加すること
- 日本国籍を有しない学生に関してはSAにおいてビザが許可されない事例があり注意が必要です。必ず事前にSA国のVISAが取得できるか確認してから出願してください。

SA プログラムの内容

- SA先大学：
 - (1) ニュージーランド オークランド大学
(The University of Auckland)

【SAプログラム 事前英語教育 対象科目】 ※2018年度春学期までに4単位以上履修すること

	2014年度以降入学者 科目名	2012～2013年度入学者 科目名	単位数	科目群	単位数
1	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-I	英語オーラルコミュニケーションA-I	1	ILAC科目4群 市ヶ谷基礎科目4群	各科目 1単位
2	Practical English (オーラル・コミュニケーション) A-II	英語オーラルコミュニケーションA-II	1		
3	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-I	英語オーラルコミュニケーションB-I	1		
4	Practical English (オーラル・コミュニケーション) B-II	英語オーラルコミュニケーションB-II	1		
5	English for Study Abroad I	英語オーラルコミュニケーションC-I	1		
6	English for Study Abroad II	英語オーラルコミュニケーションC-II	1		
7	国際コミュニケーション語学（英語Ⅰ）		1	学部関連科目	
8	国際コミュニケーション語学（英語Ⅱ）		1		
9	国際コミュニケーション語学（英語Ⅲ）		1		
10	国際コミュニケーション語学（英語Ⅳ）		1		
11	国際コミュニケーション語学（英語Ⅴ）		1		

上記科目は入学年度によって科目の位置づけが異なりますので注意してください。（教員免許取得希望者も注意のこと）
2017年度キャリアデザイン学部履修の手引きの以下のページを必ず確認すること。

- <2017年度入学者> 学部－(10)、(15)、(22)、(23)、(24)
- <2014～2016年度入学者> 学部－(53)、(59)、(64)、(65)、(66)
- <2012～2013年度入学者> 学部－(88)、(93)、(99)、(100)、(101)

(2) オーストラリア アデレード大学
(The University of Adelaide)

■授業内容：

週 20 時間の ESL (English as a Second Language)
授業を 15 週間受講する。

■ SA 参加期間：

- ・オークランド大学
2018 年 8 月中旬～ 12 月上旬 (予定)
(上記期間のうち授業期間は 15 週間)
- ・アデレード大学
2018 年 8 月中旬～ 12 月中旬 (予定)
(上記期間のうち授業期間は 15 週間)

■ SA 参加対象者：

キャリアデザイン学部 2～4 年生 (参加時)

■ SA 参加募集人数：各大学 5 名

SA プログラム費用

SA プログラムの費用は、全額個人負担となります。留学中も休学ではなく、在籍のまま留学します。したがって法政大学での学費は免除となりませんので、ご注意ください。

下表の金額は、2017 年度参加の費用 (実績) です。2018 年度参加も同額程度の金額になる見込みですが、外貨の換算レート・授業料・宿泊費の変動によって異

なってきますので注意してください。また、パスポート取得費用、小遣い、ホームステイ先から大学までの交通費、食事の一部 (オークランド大学のみ) は含まれておりません。教材費が別途必要な場合があります。費用請求は、出発前に保証人宛に通知する予定です。

なお、SA 参加学生決定後に自己都合による留学の取消しを行う場合はキャンセル料が発生する場合がありますので注意してください。

SA 奨学金

キャリアデザイン学部の SA プログラムへの参加を奨励することを目的とした、奨学金制度です。返済の必要はありません。給付対象者の決定は、SA 奨学金申請願などの必要書類を提出し、学部成績や語学試験のスコア、事前英語教育の履修状況などから総合的に判断して行います。金額は、SA プログラムの総費用の 3 割程度を目途として給付されます。なお、SA 奨学金の給付は、SA 費用の総額から奨学金分を減額することにより行います。

単位認定

最大 16 単位を上限に、学部専門 関連科目 (スタディ・アブロード I～IV) として、一括認定を行います。

[SA プログラム各コースの費用例 (2017 年度実績 (SA 奨学金採用の場合))]

大学	授業料・宿泊費 (¥)	渡航 (¥)	ビザ (¥)	保険 (¥)	運営サポート料 (¥)	合計 (¥)	SA 奨学金 (¥)	学生負担 (¥)
オークランド	901,128	208,520	5,400	39,860	1,080	1,155,988	346,796	809,192
アデレード	951,281	159,170	60,000	51,960	1,080	1,223,491	367,047	856,444

(2017 年 6 月時点の情報 1NZ\$=¥78.77 1AU\$=¥85.47 として換算)

SA プログラムスケジュール / Q & A

● SA プログラムスケジュール

2017 年度		
① 9月27日(水) ② 10月5日(木)	SA プログラム参加学生募集説明会 12:50～13:20 F309 教室	①
10月27日(金)	SA プログラム申し込み締め切り	②
11月中旬	面接選考(英語による面接を含む)	③
12月上旬	SA 参加学生の決定	④
1月	TOEFL [®] – ITP の受験	⑤
1～3月	各種手続き(アプリケーション記入ガイダンス)	⑥
3月下旬	ビザガイダンス	⑦

2018 年度		
4月	事前英語教育 履修登録	⑧
7月	危機管理ガイダンス	⑨
	SA プログラム費用支払	⑩
	キャリアアドバイザーによる面談	⑪
出発2週間前	直前ミーティング	⑫
8月	出国	⑬
12月	帰国	⑭
1月	帰国後報告会	⑮

〈2017 年度〉

① SA プログラム参加学生募集説明会

募集説明会を実施します。SA 参加を希望する学生はどちらか1日必ず出席してください。この説明会で志望理由書も配付します。

② SA プログラム申し込み締め切り

SA 参加希望者は「志望理由書」を締切日時までに必ず提出してください。

・提出締切日：2017年10月27日(金) 19:00

・提出場所：キャリアデザイン学部窓口

③ 面接選考(英語による面接を含む)

TOEFL[®] – ITP のスコア、当年度春学期までの成績、志望理由書、面接で選考を行います。

④ SA 参加学生の決定

選考により、キャリアデザイン学部教授会が参加学生を決定します。結果は、キャリアデザイン学部掲示板にて発表します。

⑤ TOEFL[®] – ITP の受験

学部で実施する TOEFL[®] – ITP を受験してください。

⑥ 各種手続き(アプリケーション記入ガイダンス)

パスポートを各自取得します。パスポートの取得費用は各自の負担になります。既にパスポートを持っている学生は、あらためて取得する必要はありませんが、SA 出発前や SA 滞在中にパスポートの有効期限が切れる場合は、更新手続きをしてください。

SA 先大学別の入学願書、ホームステイ申込書の記入をします。詳細は国際交流課 SA 担当からお知らせします。

⑦ ビザガイダンス

オークランド・アデレードともに学生ビザの取得が必要です。ビザ取得のためには各種証明書や書類を準備する必要があります。必要書類は国によって異なり、証明書の取得には時間がかかる場合があります。必ずビザガイダンスに出席し、期限内に書類を提出してください。

〈2018 年度〉

⑧ 事前英語教育 履修登録

参加前の英語教育として2頁の表に示す事前英語教育対象科目の中から4単位以上を履修してください。

⑨ 危機管理ガイダンス

海外渡航中の注意事項(海外の危機管理情報、ヘルスケア、薬物など)や、海外旅行保険の内容の説明、渡航全般に関してのガイダンスを行います。市ヶ谷キャンパスで SA プログラムに参加する学生全員が対象です。保証人の方もご参加いただけます。

⑩ SA プログラム費用支払

SA 費用(渡航費、海外旅行保険料、ビザ申請料含む)は SA 先大学ごとに異なるため6月中旬頃から決定次第順次通知します。支払いは全額一括または分割払い(7月・12月)を選択することができます。所定の期日までに費用の支払いがない場合、SA への参加や単位認定ができませんので注意してください。

⑪ キャリアアドバイザーによる面談

SA 参加前にキャリアアドバイザーの面談を必ず受けていただきます。

12 直前ミーティング

出発の約2週間前に、直前ミーティングを行います。空港への集合時間や、その他渡航、留学に必要な情報を提供します。

またこの時に、SA期間中に使用するSAポータルサイトについての説明を行います。

13 出国

SA先大学ごとにまとめて出国します。SAプログラムは授業の一環であり、単独での出国は認められません。

14 帰国

SA先大学ごとにまとめて帰国します。SAプログラムは授業の一環であり、単独での帰国は認められません。また個別事情により帰国日を変更することもできません。

15 帰国後報告会

帰国後レポートを提出し、現地での授業内容・学習状況・生活について報告をしてもらいます。

● Q&A

Q 選考方法を教えてください。

A TOEFL、TOEICのスコア、今年度春学期までの成績、志望理由書、面接によって選考します。

Q 渡航・帰国は誰が手配しますか？

A 航空券は大学が旅行代理店を通じて用意します。また、SA先大学ごとに渡航・帰国します。

Q どんな保険に入ればよいですか？

A SA参加学生は、法政大学が指定する海外旅行傷害保険に加入することが義務付けられています。この保険はSA参加学生のために特別に設計されたもので、大学が一括して加入するため、保険料が割安になります。

Q ビザ取得について教えてください。

A ビザは、大学が旅行代理店を通じて一括で申請します。ビザ申請中は、パスポートを旅行代理店に預けることとなりますので、ビザ取得までは海外に渡航できません。

Q ガイダンス、事前英語教育の授業に出席または受講ができません。

A ガイダンスへの出席、事前英語教育の授業の受講は参加するための義務です。欠席が重なると参加を取り消す場合があります。

Q SAプログラムの参加学生としてやらなければいけないことにどんなことがありますか？

A SAプログラムに参加することは学部の代表として留学することになります。

具体的には、ガイダンス・授業への出席、留学先での定期的な報告書の作成、帰国後報告会の参加、および後輩への情報提供等があります。

Q 帰国日を変更したいのですが？

A できません。

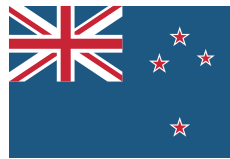
Q 留学期間を延長したいのですが？

A できません。

Q 留学先で旅行に行きたいのですが？

A SAポータルサイトから必ず旅行前に旅行届を提出してください。また、旅行先へは、日本の緊急連絡先を持参するようにしてください。旅行先から帰ってきたら、その報告も忘れずにしてください。なお、留学国以外の国への旅行はキャリアデザイン学部として許可できません。

SA 先大学の紹介 (ニュージーランド オークランド大学)



オークランド大学

English Language Academy The University of Auckland

- HP : <http://www.ela.auckland.ac.nz/>
- 住所 : Level 5, 67 Symonds Street Auckland 1142, New Zealand

● 概要

オークランド大学は 1883 年に創立された国立大学で、ニュージーランド (北島) の最大都市オークランドに位置するニュージーランドの代表的な教育機関です。2015 年のタイムズ誌「The times Higher Education」では世界のトップ 100 位以内にランクインされました。

● 授業の内容

▶ 履修するコース

Global English Plus (GEP)

オークランド大学の付属校である English Language Academy での ESL 集中授業を通じて、1 週間あたり 20 時間の授業と最大 4 時間のワークショップが組みられています。5 週間ごとに成績評価とクラスチェンジがあります。オプションで Conversation Club に参加することも可能です。授業の期間は 15 週間です。

● 宿泊施設

SA プログラムの期間中はホームステイとなります (平日 2 食、週末 3 食付)。



○ SA 参加者より

NZ は豊かな自然の中で、日本では見ることのできない壮大な景色を見ることができ、そうした穏やかな環境の中で時間に追われず、ストレスなく、のびのびと勉強できました。また治安が良く、現地の人々もフレンドリーで、NZ の人々の人の好きを実感し、忙しく毎日過ごす日本では感じるることのできない、現地ならではの人間味溢れるあたたかさ、素晴らしさも感じることができました。

英語はもちろんのこと、それだけではなく、NZ の文化を生で感じることで、日本を客観視でき、人として様々な部分で成長できました。この留学経験を通して自分の視野が大きく広がりました。



● 授業

オリエンテーション

初日は、オリエンテーションに参加し、授業の説明や施設案内、また生活についてのアドバイスなどを受けます。

その後、クラス分けのテストが行われます（年度によっては渡航前に実施）。昨年度は渡航前の7月にListening, Grammar, Writingテストを受けると、現地ではSpeakingテストのみでした。

レベル

Elementary, Pre Intermediate, Intermediate, Upper-Intermediate, Advancedの5つのクラスがあります。

時間割

午前授業の場合、8:15～10:15 General English（通常クラス）、10:30～12:30（選択クラス）の2コマを受けます。（午後授業の場合は13:00～15:00、15:15～17:15となります。）クラス分けテストの結果によってレベルに応じたクラスが決定します。

通常クラスと選択クラス

1日2時間ずつの通常クラスと選択クラスを受けることができます。

通常クラスでは、文の構成、単語、リスニングやリーディング、ライティング、スピーキング、発音を学びます。

選択クラスでは、コミュニケーションスキル強化、IELTS（教材費が別途かかることがあります〈2016年度は65NZD〉）、ビジネス英語（Upper-Intermediate以上の生徒が受講可能）クラスなどがあり、レベルによって受講制限があります。



《 Students' Voice 》

5週間に1回テストが行われ、英語の実力を確かめることができます。また結果次第ではクラスのレベルを上げることができます。

レベルによって授業が午前と午後に分かれる場合もあります。

《 Students' Voice 》

Speaking, Writingのスキルを上げるための授業も充実していて、自分の伸ばしたい分野の授業を選ぶことができます。

またコンピュータールームにはDVDや洋書も置いてあり、自由に借りることができます。積極的に利用することをおすすめします。

《 Students' Voice 》

クラスには日本人以外にも韓国、中国、台湾、タイ、コロンビア、サウジアラビア、インドネシアなどの留学生がいました。ディスカッションをする際、言葉が通じず言いたいことが言えないもどかしさを感じることは何度もありましたが、わかり合えた時の喜びはとても大きく、またそれぞれの国の言葉や文化も一緒に知ることができました。

《 Students' Voice 》

ELAでは多くの友人に出会うことが出来ました。

クラスには様々な国から来た生徒たちがいるため、お互いの国について話す機会もあり、英語だけでなく文化についても学ぶことが出来ました。

SA 先大学の紹介 (ニュージーランド オークランド大学)

● キャンパスライフ

ホームステイ

参加者全員がそれぞれのホームステイ先で生活し、英語環境の中で過ごします。学校まではバス等で 30 分～1 時間程度です。

食事

平日の昼食は SA プログラム費用には含まれていませんので、サンドイッチ等の軽食ですませたり、近くのカフェ等を利用します。

友人

学校内には世界各国から集まった学生がたくさんいます。語学力アップのためにも英語でたくさん話すように心がけましょう。また現地大学のサークルにも積極的に参加することで、現地で友人をつくることもできます。

施設・学習環境

学校にパソコンが設置されている自習スペース、Self-Study Centre があります。困ったことがあった場合には、先生やスタッフが現地でサポートしてくれます。また学校の近くに Public Library もあり、無料で図書館カードが作成でき、本も借りられます。

通信環境

学校内には無料の Wi-Fi があり、ステイ先でも Wi-Fi が使用できる場合があります(有料の場合もあり)。日本で使用しているスマートフォンは主にインターネット用として利用し、通話・テキストメッセージは現地で購入できるプリペイド式の携帯電話や日本からのレンタル携帯電話を利用するのがよいでしょう。

交通

オークランドでは徒歩やバスでの移動がメインとなります。バスゾーンによって金額が異なりますが、バスの定期券もあります。

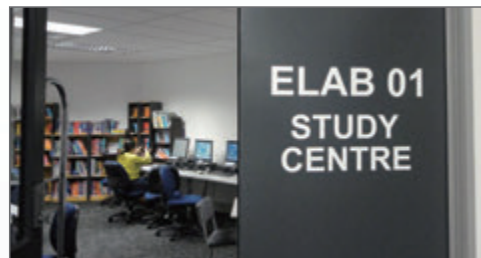
《 Students' Voice 》

ホストファミリーと一緒にレストランで食事しました。



《 Students' Voice 》

Study Centre の方は本当に優しく、親身になって相談にのってくれます！語学力向上にもつながるので、会いに行ってみてください。



《 Students' Voice 》

定期券は割高な場合が多いためホストファミリーと相談するとよいでしょう。HOP Card があり suica のように都度チャージがおすすめです。



《 Students' Voice 》

左は通い始めて最初の頃のクラス集合写真。夏休み中は日本人がたくさんいました。このクラスは、日本人 8 人、韓国人 1 人、コロンビア人 1 人の割合でした。

《 Students' Voice 》

授業は受身型ではなく参加型であったため、積極的に発言していました。また右の写真の様に外に出て広告をさがす授業があり非常に楽しかったです。



● 課外活動

課外イベント

フットサルやハイキング、乗馬など学校主催のイベントが定期的
に開催されています。イベント情報はオリエンテーションや
Facebook などを通じて確認することができます。友だち作りの
場としてうまく活用しましょう。

ショッピング

学校は市内の中心に位置するので、洋服・おみやげなどのショッ
ピングを楽しむこともできます。また、お昼の食材などは市内中に
あるスーパーマーケットを利用することができます。

週末

土日は授業がないため、友人やホストファミリーと外出したり、
一週間の授業の復習や課題をして過ごします。また日帰りや1泊
旅行も可能です。

ホリデー

10月の第4月曜日はNZではLabour Dayという祝日があり
ます。3連休（滞在期間中1回のみ）になるため、金曜日の放課後
から3泊4日のツアーに多くの学生が参加します。自然がきれい
なNZを楽しめます。

ルール

キャンパスを出ると皆さんは自由に過ごすことができる反面、
様々な危険もあります。課外活動中の安全確保のため、以下のルー
ルを厳守してください。

1. 旅行の際は事前に法政大学への届け出が必須です。
(留学国以外の国への旅行は、キャリアデザイン学部として
不可)
2. 授業を休んでの旅行は認められません。
3. 車の運転やアルバイトはできません。



《 Students' Voice 》

オークランドは自然が豊かで、美
しい場所がたくさんありました。そ
のため、休日は友人と小旅行に出か
けることもよくありました。

《 Students' Voice 》

ハロウィーンでは学校に仮装して
きて授業を受けている生徒がいたり、
放課後にはラウンジで仮装コンテス
トが行われます。とにかく盛り上が
ります。



《 Students' Voice 》

休日と10月にある祝日Labour
Dayを活用して南島のクライストチ
ャーチとLake Tekapoに行ってき
ました！SAのメンバーともより仲
を深めることができました。



《 Students' Voice 》

下はオークランドから車で3時間
ほど離れた場所にあるリゾート地、
コロマンデル島です。リゾート地と
いえばロトルアが定番ですが、地元
の人にはコロマンデル島の方がのど
かで人気です。



SA 先大学の紹介 (オーストラリア アデレード大学)



アデレード大学

English Language Centre, The University of Adelaide

- HP : <http://www.adelaide.edu.au/elc/>
- 住所 : Level 9, 115 Grenfell Street, Adelaide SA 5005 Australia

● 概要

1874年に創立され、南オーストラリア州アデレードに位置する公立大学です。これまでに5人のノーベル賞受賞者を輩出し、世界的な研究機関として知られています。オーストラリア国内の優秀校であるオーストラリア国立大学、シドニー大学、メルボルン大学などから構成されるオーストラリア8大学 (the Group of Eight) のメンバー校です。

● 授業の内容

▶ 履修するコース

General English for Academic Purposes (GEAP)

最大18人のクラスで、ESL集中授業を通じて英語によるコミュニケーション能力を向上させるとともに、実践的な英語スキルの向上を図ります。毎週金曜日はIELTSやTOEFL対策などの選択授業があるので興味のある授業を受講することができます。1週間あたり20時間の授業で、その中にActive Program (オリエンテーションシティツアーなど)が含まれています。授業の期間は15週間です。

● 宿泊施設

SAプログラムの期間中はホームステイとなります(全日3食付)。



○ SA 参加者より

最初は英語を使うのも疲れますし、不安も多々あったので、日本人と一緒にいることが多かったように思います。しかし徐々に外国人の友達が増え、街に慣れていくにつれて、行動範囲も広がっていきました。アデレードは小さな町ですがお店も自然も多く、とても住みやすい街です。海も近いので、学校帰りにふらっとトラム(路面電車)で立ち寄ることも楽しみの一つでした!法政からは5人参加しましたが、何もトラブルなく4ヶ月を過ごせてよかったです。タームの間にある1週間のホリデーでは、メルボルンやブリスベン、シドニー、エアーズロック、ゴールドコーストなどの他の都市・観光地に旅行に行きました。勉強も大切ですが、たまには観光で息抜きも良いと思います。みなさんもアデレードで、新しい自分・新しい仲間を発見してみてください。



● 授業

オリエンテーション

事前に日本でクラス分けテストを行い、それに基づき自分の語学力に適したクラスで授業を受けます。授業カリキュラムや施設利用などの説明はオリエンテーション時に行います。初日はホストファミリーが同行し、学校までの行き方を教えてください。

レベル

elementary から advanced まで 5 つのレベルがあり、授業でレベル間交流もあります。

時間割

月～木曜日までは通常クラス、金曜日はレベル混合の選択クラスです。曜日によってスピーキング、リスニング、リーディングやライティングの授業に分かれていることが多いです。授業は午前のみ、もしくは午後のみなので授業以外の時間を勉強やアクティビティに有効活用することができます。タームごとにレベルに応じてクラスが変わるため、時間割もそれに依りて変更になります。

通常クラス

レベルに応じたリーディング、ライティング、リスニングやスピーキングを学ぶと同時にチームワーク力や問題解決力を養っていきます。

授業内アクティビティ

通常はクラスルームで授業を行いますが、ときには外にでて行き、大学主催のイベントにも参加したりします。現地の学生と交流する機会もありますので、異文化理解や語学力の向上に役立ちます。

選択クラス

金曜日は Global Communication Skills, Global Citizenship, Australian Studies and Popular Culture, Test Preparation TOEFL or IELTS などのクラスを希望に応じて選ぶことができます。(上記レベルによって重複して受けられないクラスもあるので注意してください。)



《 Students' Voice 》

レベルは GEAP1/2/3A/3B/4, 5 の計 5 つという区分け (人数によって変わります) でした。最初は夏休みなので日本人の比率が多いですが、徐々に外国人も増えてきます。下は GEAP2 (2 ターム目) の最後の課題プレゼンテーションの時に撮った 1 枚。日本の文化 BONODORI について発表しました。



《 Students' Voice 》

英文法を英語で学ぶというのは、一見難しいようにみえますが、先生の英語はとても聞き取りやすく、生徒のレベルにも合わせてくれるので安心でした。わかるまで教えてくれる親身な先生が多いです。毎日英語で日記をつけたり、家に帰ってからのホストファミリーとのコミュニケーションも英語上達の近道です。

SA 先大学の紹介 (オーストラリア アデレード大学)

● キャンパスライフ

ホームステイ

参加者全員がそれぞれのホームステイ先で生活をします。ステイ先は場所や家庭環境もそれぞれ異なります。

食事

プログラム期間中の食事は、基本的にホストファミリーが一日三食用意してくれます。

友人

クラス・キャンパス内には、色々な国から英語を学びに来ている学生がたくさんいるので、より広い友人関係が作れるよいチャンスです。コミュニケーションが大事になるので、間違うことをためらわず積極的に話すことが大切です。



施設・学習環境

授業以外での勉強は、家や大学の主要施設内などで行えます。キャンパス内にはパソコンが常備されており自由に使えます。また、図書館やディスカッションルームなどもあるので、個人だけでなくグループで勉強をする施設も充実しています。

Hub という施設では PC を使うことができるほか、学生のミーティングルームやスカイプルーム、コピー機、リラクゼーションルームやミニキッチン、ロッカーなども使えます。

通信環境

ステイ先も Wi-Fi を契約している家庭が多いので期間中は節度をもって使わせてもらいましょう。(もちろん大学にもあります)

大学のあるアデレード中心地には Free Wi-Fi の回線がありますが、ステイ先を離れると Wi-Fi を使えなくなるので現地で使える電話でも回線を用意することをお勧めします。



《 Students' Voice 》

どのホストファミリーもとても優しく親切で、他のメンバーのステイ先に遊びに行った仲間もいました。



《 Students' Voice 》

街の中心地には、手軽なファストフード店やフードコート、しっかりとしたレストランやバーがあり、友だちと行きました。



《 Students' Voice 》

Wi-Fi 環境下では、日本で使っている携帯電話やスマートフォンも使うことができます。



● 課外活動

課外イベント

課外イベントの一つとして ELC Social Club があります。いろいろなイベントがあるので参加してみたいかでしょうか（特に coffee & chat がおすすめ）。

イベントを通じて自分たちと同じく、英語を学びに色々な国から来た人との友人関係も広がります。授業とは違った雰囲気の中で英語に触れるいい機会です。

ショッピング

大学のすぐ近くに大きなショッピングストリートがあり、ほとんどのものは揃えることが出来ます。またレストランやフードコートもあるので気軽に食事にも行けます。さらに、大学周辺は交通網も充実しているので、中心地から離れた所のショッピングモールなどへのアクセスも簡単です。少し歩けば中華街があり、日本食も豊富です。

週末

ホストファミリーや友達と過ごしたりします。もちろん、週明けの授業や課題等にも備えましょう。

ホリデー

5週間で構成されている1タームが終わると1週間の休暇が、プログラム中に2度あります。休暇中はホストファミリーと過ごしたり、オーストラリア国内を旅行することもできます。この機会にオーストラリアの文化に触れてみましょう。旅行先としてメルボルンやゴールドコースト、中にはシドニーに行った人もいます。

ルール

キャンパスを出ると皆さんは自由に過ごすことができる反面、様々な危険もあります。課外活動中の安全確保のため、以下のルールを厳守してください。

1. 旅行の際は事前に法政大学への届け出が必須です。
（留学国以外の国への旅行は、キャリアデザイン学部として不可）
2. 授業を休んでの旅行は認められません。
3. 車の運転やアルバイトはできません。



《 Students' Voice 》

コーヒーチャットでは、色々な国の人と話せて友達がたくさんできました！学外ではビーチバレーにアイススケート、サッカー観戦もやりました！



《 Students' Voice 》

下は GEAP で出会ったサウジアラビア人の家で BBQ をしたときの様子です。



《 Students' Voice 》

アデレード大学では、季節によって咲くきれいなパープルのお花が咲きます。この中庭でよくピクニックをしました。



SA 体験記

● Student Column

佐川 ひなの(3年)/ オークランド(ニュージーランド)に滞在

この約四か月間の留学は、自分を大きく変えてくれました。しかし、最初はこの環境の変化についていくのがやっとで、日々不安を感じながら奔走することがやっとでした。特に言語が通じない面では、非常に苦勞をしました。しかし、このことが英語を学ぶモチベーションとなり、その後の英語学習により身が入るきっかけになりました。

また、周りの人々も親切で、私の拙い英語を理解しようと一生懸命に話を聞いてくださいました。特にホストファミリーには、悩みや困ったことを相談して、一緒に解決方法を考えてくださり、非常に感謝しています。

学校では、リスニング、スピーキング、リーディング、エッセイ、プレゼンテーションなど多方面にわたる英語力を鍛えることができたので、実際に使える英語が学べました。帰国後に受けたTOEICでは、100点以上スコアアップすることもできました。

新しくできた世界中から集まった友達たちと、放課後遊びに行ったり、ニュージーランドの観光地に行ったりと、私生活も充実していました。

出会う人、文化、言語などすべてを取り巻く環境が180度変わってしまうことは、日本で暮らしているだけでは手に入ることのない、貴重な経験だと思います。このニュージーランドでの生活は、私の一生ものの財産になりました。



キャリアデザイン学部SAプログラムについての問い合わせ先

法政大学キャリアデザイン学部担当(TEL: 03-3264-9341)

窓口時間 月～金 9:00～11:30、12:30～19:00
土 9:00～12:00

